

【具体的な改善例・SST】

【資料】 生活指導委員会の具体的取り組み

SST (ソーシャル・スキル・トレーニング) と アサーション

和みの学び舎では、人との適切な関わり方の指導に重点をおき、系統的にSSTやアサーションの取り組みをすすめている。私たちは、SSTを、「良好な人間関係をつくるための知識と具体的なコツ」と考えている。

概要

- ① 「ことばの力」(豊かな人間性)の育成を図る。
- ② 小学校段階からSSTに取り組み、ワークシートを活用した学習や疑似体験等を通して、「あいさつ」「聞く」「ストレス」「ルールと協力」の5項目について、その場に応じた言葉や具体的な行動について知らせる。
- ③ 世田谷区教育要領の特色である教科「日本語」の学習にもつなげる。

中学校 教科「日本語」 表現

自他を大切にできる心

テーマ	あいさつ	伝える	聞く	ストレス	ルールと協力
1年	あいさつはきかせよう! いろいろなあいさつ言葉を知る。 あいさつが大切な気持ちを相手に伝えるようになる。	伝えようと思った声の大きさを知る。 伝えるときに姿勢や目線が大切なことを知る。	よい聞き方について知る。 相手の話をよく聞いて返事をする。	自分が思っている感情が、他人に伝わる。 今までに自分が人を怒らせたこと、その原因について知る。	ルールを守って行動しようとする。 友だちと協力することの重要性を学ぶ。
2年	場面にあったあいさつ言葉を知る。 「自分も相手も気持ちよくあいさつがけられるようになる」	ふたつふたつとくちくち言葉を知る。 ふたつふたつとくちくち言葉が相手に与える影響を知る。	話をよく(よい)聞かせるようになる。 相手の話をよく聞き返す。	自分の感情を伝えたい気持ちを伝える。 思いやりをコントロールする方法を知る。	ルールを守って行動しようとする。 友だちと協力することのために、協力し助け合うことの重要性を学ぶ。
3年	あいさつをきかせよう! あいさつをきかせたときの相手の反応を知ることができる。 相手の反応がよいあいさつがけである。	ふたつふたつとくちくち言葉の重要性を知る。 ふたつふたつとくちくち言葉が相手に与える影響を知ること。	聞いていますサインを使うことができる。 「相手の話をよく聞いてもらっている」と感じられるようになる。 「聞く」を練習することによって、その違いを知ること。	カードを使った、どうする? 自分がとる行動により気持ちよく相手と関わりあえるようになる。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	自分のルールを知ること。 友だちと協力することのために、協力し助け合うことの重要性を学ぶ。
4年	相手に合わせたあいさつ言葉を知ること。 相手の反応がよいあいさつがけであることを知る。	具体的な場面でのあいさつ言葉の重要性を知る。 具体的な場面でのあいさつ言葉が相手に与える影響を知ること。	上手な聞き方(注意して話を聞く)を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	上手な聞き方(注意して話を聞く)を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	自分のルールを知ること。 友だちと協力することのために、協力し助け合うことの重要性を学ぶ。
5年	相手の反応がよいあいさつ言葉を知ること。 相手の反応がよいあいさつがけであることを知る。	上手な聞き方(注意して話を聞く)を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	上手な聞き方(注意して話を聞く)を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	上手な聞き方(注意して話を聞く)を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	自分のルールを知ること。 友だちと協力することのために、協力し助け合うことの重要性を学ぶ。
6年	相手の反応がよいあいさつ言葉を知ること。 相手の反応がよいあいさつがけであることを知る。	上手な聞き方(注意して話を聞く)を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	上手な聞き方(注意して話を聞く)を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	上手な聞き方(注意して話を聞く)を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。 自分と相手の気持ちの差を知る。	自分のルールを知ること。 友だちと協力することのために、協力し助け合うことの重要性を学ぶ。



取り組みやすいように「指導案」「ワークシート」「回答例入り指導資料」を年間計画に基づきパッケージにしてある。
教育相談主任、業種相談・スクールカウンセラーが連携するとともに、実践ごとに改善意見を反映させたり、指導者がカスタマイズできるようにデータを共有していることは大きな特色。



SST (ソーシャル スキル トレーニング)

※ 全体計画【上記】・各学年のワークシート・回答例入りワークシート・指導案(略案)【右記】は、共用フォルダ「世田谷9年教育グループ」12:和みの学び舎のフォルダに入れてあります。

【具体的な改善例:SST】



【教職員のモチベーション】

【学校関係者評価と教員の参画】

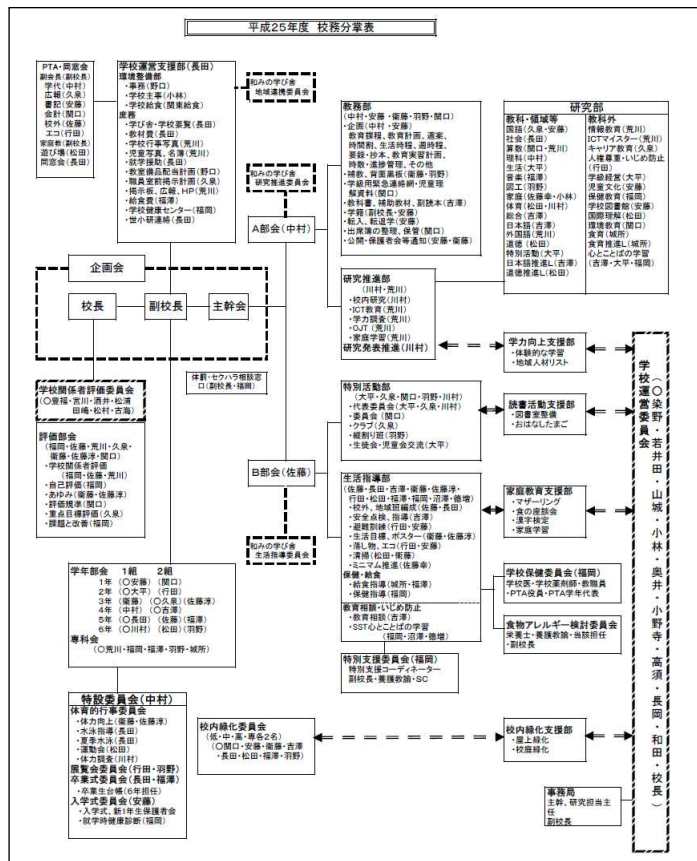
本校の学校関係者評価委員会は、学識経験者(大学教授・元校長)、地域住民、保護者で構成し、委員長は豊福先生にお願いしています。事務局は、本校の**主幹教諭**、**主任教諭**が中心になっています。校長は、委員でも、事務局でもない。

校内の自己評価、各種調査も、学校関係者評価委員会に資料として提出し、学校関係者評価委員会からは不明な点や、追加質問が必要な時には、追加調査も行う。

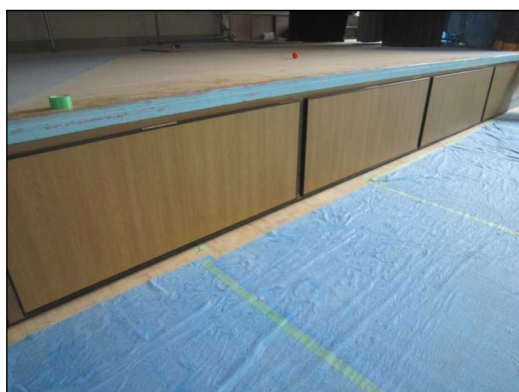
【教員のモチベーションには**形成的な評価**】

自己肯定感、自己有用感、が大切なことは教員も同じ。自分たちのやってきたことは意味があって、ここをこう改善するともっとよくなる。というような**最近接領域で改善策を提示**できると改善はスムーズにすすむ。

【具体的な改善例：校務分掌組織・主幹教諭会からの提案】



【具体的な改善例：施設改善】



【具体的な学校関係者評価】

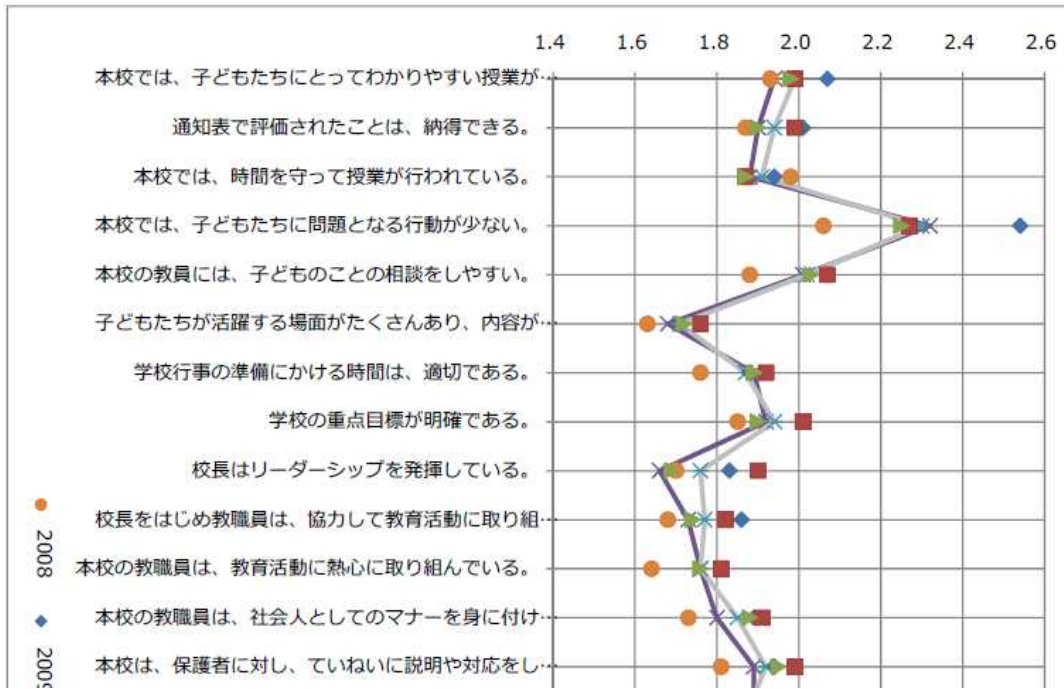
2. 保護者アンケート

2.1. 分布傾向

表 1 保護者アンケートの回答分布と平均

保護者	項目	たいへん よろう	まあ まあ	あまり よろう ない	そう まあ いい	分から ない /無回答	平均
P011	本校では、子どもたちにとってわかりやすい授業が行われている。*	56	267	27	4	12	1.94
P012	通知表で評価されたことは、納得できる。	78	241	35	3	9	1.90
P013	本校では、授業をとおして、子どもたちに学力がついている。	51	245	38	11	21	2.03
P014	本校では、時間を守って授業が行われている。	74	251	24	4	13	1.88
P021	本校では、社会のルールを守ることに子どもたちに指導が行われている。*	66	255	24	5	16	1.91
P022	本校では、子どもたちに問題となる行動が少ない。	36	192	74	35	29	2.32
P023	本校の教員には、子どものことでの相談しやすい。	65	225	44	12	20	2.01
P031	子どもたちは、学校行事を楽しみにしている。	225	133	5	0	3	1.39
P032	子どもたちが活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している。	132	203	14	2	15	1.68
P033	学校行事の準備にかける時間は、適切である。	87	231	25	12	11	1.89
P041	学校の重点目標が明確である。	66	237	26	7	30	1.92
P042	校長はリーダーシップを発揮している。	139	193	10	5	19	1.66
P043	校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	112	220	9	5	20	1.73
P051	本校の教職員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	109	221	16	4	16	1.76
P052	本校の教職員は、社会人としてのマナーを身に付けている。	89	238	17	2	20	1.80
P061	学校からの通信(プリント)に、保護者の知りたい情報が盛り込まれている。	61	256	37	6	6	1.97
P062	本校は、保護者に対し、ていねいに説明や対応をしている。	83	234	30	7	12	1.89
P063	学校公開や保護者会をとおして、学校の様子がよくわかる。	77	249	29	5	6	1.89
P064	本校のホームページの内容は充実している。*	38	179	53	13	83	2.14
P071	本校は、地域の人材や施設を教育活動に活かしている。	115	213	8	0	30	1.68
P072	本校は、地域の活動や行事に協力的である。*	130	200	9	0	27	1.64

【具体的な学校関係者評価】



平成25年度 「ひがたま」の教育（保護者会用）

本年度は、より具体的で、子どもたちにも分かりやすく、

・自分を大切に

・ひとを大切に

を、本校のキーワードとし、ひとつの言動、価値判断が「自分を大切に」しているかどうか。「ひとを大切に」しているかどうかを考え、日々の学習や生活の中で実践できる子どもを育てていきます。

「自分を大切に」することは、自分勝手やわがままを押し通すことは違います。「ひとを大切に」することは、誰かの言いなりになることではありません。教科や領域の学習においても、ただ知識の量を増やすのではなく、学び合い、高め合うためにはこれらを「大切に」しなくてはなりません。また「笑顔・あいさつ・よい返事」につきましては、大切にしていることを伝え合うためにも、本年度も継続して指導してまいります。

各ご家庭、地域の中でも「（それは）本当に自分を大切にしていることですか。」「（それは）ひとを大切にしていることですか。」機会あるごとに子どもに問うていただければと思います。

本年度は、和みの学び舎として、「世田谷区教育委員会 世田谷区教育ビジョン推進研究開発校～教育の情報化～」の発表会を平成25年11月に実施する予定です。それに伴い、大型モニタ、実物投影機、デジタル教科書、電子黒板等の利活用に加えて、本区では初となる、タブレット型PCの導入や校内のWIFI（無線LAN）接続等ハード面での更なる充実も図ってまいります。

さらに、第2期体育館改修工事（パイプいす格納スペース改良等）、校庭の防災・安全対策工事（マンホールトイレの設置等）により、安全で安心できる学校をつくってまいります。（水道管直結工事は、来年度に延期になりました。）

「ひがたま」では、「自分を大切に ひとを大切に」する子どもを育てたい。

そのために、私たちは、本年度、次のことを重点にして教育活動にあたります。

楽しくわかりやすい授業を展開する。

自己を敬愛し、相手を思いやる児童を育成する。

心身の健康の保持増進に努める児童を育成する。

そのために、私たちは、次のことに取り組みます。

- ・児童理解、教材研究、授業デザインの重視
- ・教員が主体的に取り組む授業研究

- ・ICTを利活用した授業
- ・繰り返し学習する内容
- ・発展的に学習する内容
- ・OJT 等

- ・「人格の完成をめざして」
- ・家庭、地域の協力を得て道徳的な実践力を高める
- ・あいさつ運動
- ・特別活動の取組
- ・SST
- ・計画的教育相談
- ・エコ活動への取組 等

- ・体育的な環境の整備
- ・外遊びの奨励
- ・体育的な集会活動の充実
- ・読書タイムや読み聞かせの充実
- ・食育の取組
- ・特別支援教育の正しい理解と取組 等

取組の成果については、学校関係者評価も活用して検証、改善してまいります。